



幡多希望の家

(No.27)



〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山 867

社会福祉法人 土佐希望の家

幡多希望の家医療福祉センター

TEL ◆ (0880)66-2212 FAX ◆ (0880) 66-2215

HP ◆ <http://www.hatakibou.jp/>

Mail ◆ hataki01@mb.gallery.ne.jp

<発行所> 幡多希望の家医療福祉センター

<発行日> 2024 年 1 月 1 日<発行責任者> 河原 敏郎



～新年のごあいさつ～

社会福祉法人 土佐希望の家
理事長 門 田 正 坦

ご利用者の皆さん、ご家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、土佐希望の家医療福祉センター、幡多希望の家医療福祉センターの運営に、ご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、ここ3年あまり新型コロナウイルスへの対応に努めてきましたが、昨年5月8日に、結核等の「2類」感染症から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」感染症に移行し、外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられるなど、コロナ対策は大きな節目を迎えたところです。こうした中で、昨年8月から9月にかけて、土佐、幡多両施設でクラスターが発生、土佐では52名（利用者18名、職員34名）、幡多では54名（利用者28名、職員26名）の感染が確認されました。15日前後でクラスターは終息し、11月には7回目のワクチン接種も行い、その後、利用者の皆さんへの感染は確認されていません。5類にはなりましたが、今後とも感染防止対策に努めてまいります。

平成19年建築の土佐希望の家医療福祉センター1・2病棟の大規模修繕について、昨年9月に国庫補助の採択を受け、感染症の個室増設や空調の更新などを予定しています。5月には完成予定で、利用者の皆さんの環境の改善に努めてまいります。また、軟弱地盤対策として懸案の幡多の移転改築については、移転先の用地確保に取り組むとともに、現施設の老朽度調査や新施設の概略設計などの準備を進めています。利用者の皆さんへの支援の充実に向けて、土佐では「いいケアしようプロジェクト会」を毎月のように開催し、有識者からのアドバイス等もいただき、各病棟での支援の充実に繋げていきます。また、幡多では、虐待防止委員会を毎月開催、虐待に関する「気づきボックス」も設置するなど、利用者支援の向上に努めています。

合併2年目となる昨年4月から、幡多の職員給与と手当を、令和7年度までに有利な土佐の給与と手当に統一することとしました。職員処遇が同じになれば、異動も可能となり、組織の活性化などの効果が見込まれます。また、民間企業や公務員等の初任給見直し、令和6年度の医療・介護の報酬改定、人材の確保、などから、給与の見直しが必要と考えています。人口の減少、将来に亘る財政負担などを考慮し、持続可能な給与体系を検討してまいります。

南海トラフ地震対策が言われて久しくなり、危機感が薄れているとも言われています。毎月の災害対策訓練は、両施設とも行っていますが、災害時の業務継続計画（BCP）の見直しが必要となっています。水・食料・毛布、医薬材料などの備蓄は一定行っているものの、福祉避難所としての機能、要支援者や医療的ケア児への対応、近隣住民への対応など、計画の見直しが必要と考えています。職員の住所地と津波浸水地域を重ねて、参集可能な職員をもとに、災害時に可能な支援体制を想定し、BCPの見直しを行ってまいります。

まずは、土佐の見直しを行い、幡多は移転改築の状況に併せて、見直しに着手してまいります。合併2年目となり、両施設合わせて193床、職員数373人（正職員291人、非常勤82人）の大企業として、法人及び施設運営では、スケールメリットを生かした、共同発注、共同購入なども行っています。利用者、ご家族の皆さんに提供するサービスの質の向上、働きやすい職場づくり、地域貢献など、重症心身障害児者施設を運営する社会福祉法人として、その役割をしっかりと果せるように、今年も組織一丸となって取り組んでまいりますので、関係の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、本年が、皆様にとって良い年でありますようにご祈念申し上げまして、私の年頭のご挨拶といたします。

令和6年 元旦



センター長日より ～新たな歩みに希望を～



幡多希望の家医療福祉センター
センター長、施設長；島田 誠一

新年明けましておめでとうございます。

職員の皆様におかれましては、気持ちを新たに、新年の歩みを始められたことと思います。どうか、皆様とご家族にとって、この1年が良き年となりますようにお祈りいたします。そして、当施設に入所中また通園中の利用者さんにとっても、安全で安心ある1年であるようにと、祈っております。

振り返れば昨年、当施設は2度の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のクラスターを経験しました。しかし全職員のチームワーク対応とともに、面会制限などへの利用者ご家族のご協力により、これを乗り切ることができました。職員また利用者ご家族の皆様には、心より感謝申し上げます。

政府は昨年、経済活動重視の観点から、COVID-19を、感染症分類の2類から5類へと変更しました。その結果、世間ではマスク装着者が減少し、会食やスポーツ観戦などでは、ほぼフリーとなっています。しかし世の中では、COVID-19の流行はなお続いており、各種医療機関の多くでは、感染防御の体制を維持しています。そのように、社会と医療現場でのコロナ意識には格段の差が認められ、大きな矛盾を感じています。おそらく新型コロナ・ウィルスはインフルエンザと同様に抗原性を変えながら存在し続けるのではないのでしょうか。しかし私は人間の英知は新型コロナ・ウィルスの本体を明らかにするとともに、その流行を食い止め、また共存していく道を見出すであろうとの希望を持っています。

また近年、世界各地において、水害や熱波など、これまでに無かった規模での自然災害が起これ、多くの生命や財産が失われています。その最大の原因は地球温暖化にあると言われていたますが、CO2削減に反対する超大国があり、地球温暖化を示す科学的データをフェイクニュースだとする某大国大統領もおりました。そして、ウクライナやパレスチナにおける軍事行動には、大国の覇権主義を見ます。更に突き進めば、「自国さえよければ、自分さえよければとする自己中心性」に行き当たります。自己中心性は人間の根源的なもので取り除くことは難しいでしょうが、他を犠牲にする自己中心性に正義はありません。幸い今、他の人のことや環境のことを考えていこうとする“草の根の運動”が世界のあちこちで始まっています。すなわち、SDGsの取り組みです。その小さな取り組みの積み重ねが、CO2の削減に結び付き、地球温暖化を防止し、国家間に友好をもたらし希望になると考えます。この小さな希望こそがパンドラの箱から出て行った多くの邪悪なものに打ち勝つ力になるものと信じます。

当施設の働きが、利用者さんとそのご家族に希望を与える施設、まさに「希望の家」となることを信じています。そして全ての職員の皆様とともに、希望をもって新年の歩みをスタートしたいと願います。

令和6年元旦





さくらんぼの取り組み、
ご紹介します！



ドライブ外出 

運動会



コロナ禍が収束し、少しずつ大きなイベント、外出が出来るようになりました。ドライブ外出では、秋晴れの下、風に揺れるコスモスを楽しみました。ハロウィンではお化けと一緒に写真を撮ったり、お菓子を貰いにパレードしたり。運動会ではパン食い競争に風船割りにと体育館中を駆け回られています。



ハロウィン

新 人 紹 介

①抱負 ②趣味 ③自己紹介



田中 豊
(通園)

- ①10月に東京からこの宿毛に引っ越してきて、まだ3か月。この地も仕事も初めてで今は一生懸命頑張るだけです。
- ②ボーリング、釣り。
- ③東京では車の運転の仕事をしていました。早くこの地、人に馴れて頑張りますので、よろしくお願い致します。



上田 江利
(栄養科)

- ①これまで経験してきた事柄とは全く異なる作業内容だったので、戸惑う面もありましたが、一から学びたいと考えています。
- ②ドライブ、旅行です。
- ③物事を前向きにとらえて、日々前進し、仕事を早く覚えて利用者さんの為になれるように頑張ります。



坂本 有紀
(病棟)

- ①利用者様の生活と笑顔を支えるチームの一員として、自分自身笑顔を忘れず、利用者様の心と身体に寄り添っていきます。
- ②旅行、温泉。体を動かすことやスポーツは観るのもするのも好きです。
- ③経験が浅く未熟ですが、優しくあたたかい環境で日々学んでいます。1歳の娘がおり母としても新米で育てているようで育ててもらっています。毎日新しいことを覚え成長する娘に負けないように、私も日々成長できるよう頑張っていきますので、今後もよろしくお願い致します。



上田 美和
(病棟)

- ①利用者に寄り添って自分に出来ることを焦らず確実に出来るよう一生懸命頑張ります。
- ②散歩、ドライブ、読書
- ③人見知りがひどくて口下手ですが、性格は楽観的で前向きです。まだ業務に迷う時が有りご迷惑をお掛けしますが宜しくお願いします。



岡崎 由香里
(総務)

- ①精励恪勤
- ②旅行・食
- ③前職では介護施設の事務をしてました。事業が違うので不慣れな部分も多々ありますが、前職での経験を活かして頑張りますので、宜しくお願いします。

ご寄附を頂きました！

- 谷吉 幸雄 様
- 有限会社カンキュー ラッシュバイパチコ宿毛店様

皆様からの温かいご支援に心から感謝申し上げます。
ありがとうございました。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。当施設では、感染症の流行等に留意しながら、ご利用者の日常生活が安全でより楽しいものになるように、施設一丸となって取り組んでいきます。本年も変わらぬご理解ご支援をお願いいたします。

総務部総務課 森